



一級建築板金技能士・屋根外装調査士

春日 英昭

KASUGA HIDEAKI

1979年 柏崎市出身

開業から丸10年を迎えた「春日リフォーム板金」。代表の春日英昭さんは、板金の仕事に就いて25年になる。

子どもの頃から「ものを作る仕事をしたい」と考えていた春日さんは、建築業を営んでいた叔父を手伝ううち、もの作りに携わる仕事の面白さを知った。「もっと外に出て職人の仕事を学びたい」と自分で修業先を探し、市内大手の板金工業所へ面接を受けて入社。それが板金業に従事するきっかけとなった。そこでの15年間でさまざまなことを経験し「たくさんの人たちに育ててもらった」と春日さんは振り返る。

板金業と一口にいってもいろいろな仕事内容がある。お世話になった会社では、屋根（板金・スレート屋根）の工事、外壁の工事（外壁リフォーム、外壁張替え等）、雨どいの取替えや補修等。住宅だけでなく店舗や事務所、工場や学校等の公共施設、神社仏閣等。春日さんは規模の大きさや工法の違うさまざまな仕事を経験し、職人たちを束ねてきた。

入社した当時は仕事に対しての考え方が今と違い、技術継承のない時代。職人の技術は「たやすく教えてもらうもの」ではなく「見て覚えるものだ」と言われた。その分、「反骨心もあり悔しい思いもたくさん味わ

たが、人には恵まれた」。同年代の仕事仲間からわからないところを教わり、試行錯誤しながら自分で技術を身に付け経験を重ねてきた。

3年ほどすると神社仏閣を担当する班に加わり、さらに技術を磨いた。市内の神社や寺の屋根の吹き替え、県内、県外の神社や寺も担当。他にも店舗や工場等、多くの現場を担当し「一級建築板金技能士」の他、熟練した技能者で現場の責任、施工を担い上級職長に位置付けられる優れた技能・技術者であるという資格「登録建築板金基幹技能者」を取得した。

修業を見守り、後押ししてくれた叔父への感謝の思いもあり、春日さんは独立することを決めた。これまで学んできた経験を生かして顧客と直接ふれあい、相談しながら喜んでもらえる仕事をしたい。育ててもらった会社への恩返しをしたいとの思いもあった。春日さんの独立を一番喜んでくれたのは社長だった。

独立から10年、初めは仕事の依頼もなく、地元の人たちに知ってもらうためにチラシを配布。「人との縁がなければ仕事は生まれない」と現在も屋根や外装以外の住まいの困りごとに対応し相談を受けている。

春日さんは依頼を受ける際、現場だけでなく建物全体を注意深く観察する。リフォーム内部の傷みなども経験則から判断できるのは、これまでに多くの現場を経験しているからこそそのスタイルだ。「お客さんが思っている以上のものを納めたい」というのが信条で、屋根や外装工事完了後には工事保証書を発行。リフォーム補助金申請や保険の対応も行っている。

お問い合わせ

春日リフォーム板金

柏崎市下田尻2355-7

TEL 0257-37-1053



HP



Blog

